



——普段は観ることの出来ない音が音楽になる瞬間を、目の前で体験する

Music Dialogue 室内楽塾 in 東京

将来の期待される若手音楽家たちが、
ヴァイオラ奏者大山平一郎との共演を通じて何を得るのか？

——ファイナル・コンサート

2018年3月4日(日) 開場14:30
開演15:00

〔会場〕旧園田高弘邸(自由が丘駅より徒歩8分)

※現在は個人邸のため、住所はお申込者のみにご連絡いたします。

〔料金〕一般 / 学生…2000円

〔お申込み〕<https://goo.gl/V5hYt6>

〔曲目〕 モーツァルト……ピアノ四重奏曲第1番ト短調 K478

太田糸音(ピアノ)、城戸かれん(ヴァイオリン)、大山平一郎(ヴィオラ)、加藤菜生(チェロ)

ブラームス……クラリネット五重奏曲 ロ短調 Op.115

前田優紀(クラリネット)、伊東真奈、石上真由子(ヴァイオリン)、大山平一郎(ヴィオラ)、奥田なな子(チェロ)

ブラームス……弦楽六重奏曲第1番 変ロ長調 Op.18

石上真由子、城戸かれん(ヴァイオリン)、中恵菜、大山平一郎(ヴィオラ)、奥田なな子、加藤菜生(チェロ)



〔共 催〕一般社団法人Music Dialogue / 一般社団法人住宅遺産トラスト

〔後 援〕自由が丘街づくり会社ジェイ・スピリット

〔お問合せ〕info@music-dialogue.org

Music Dialogueとは？

私たちは、室内楽を通して、若手演奏家が経験豊富な演奏家と一緒に真の音楽創りを学ぶことで、アンサンブルの本質を理解できる優れた演奏家になるためのお手伝いをしていきたいと考えています。室内楽が楽器同士の「対話 Dialogue」であるように、様々な国の演奏家や他分野の芸術家と「対話 Dialogue」し、幅広い年代の聴き手と「対話 Dialogue」する機会を通じて、若手演奏家は多くの学びを得ることができると考えています。そうした幅広い「対話 Dialogue」を通じて、世界を舞台に活躍する音楽家やアート・マネージャーが育っていくことを期待しています。彼らは日本の文化的な大使として、大きな役割を果たすことができるようになるでしょう。同時に、そうした室内楽の素晴らしい世界をより多くの方々に知っていただくために、私たちも様々な「対話 Dialogue」を通じて、これまでにない新たな機会を創造し、より多くの人々に豊かな感性を育てていただきたいと思います。

室内楽塾について

私たち Music Dialogue では、室内楽を通して、若手演奏家が経験豊富な演奏家と一緒に真の音楽創りを学ぶことで、アンサンブルの本質を理解できる優れた演奏家になるためのお手伝いをしていきたいと考えています。指揮者・ヴィオリストとして世界の様々なオーケストラや音楽祭で音楽監督や首席奏者をつとめてきた大山平一郎 (Music Dialogue 芸術監督) と一緒に演奏しながら、国際レベルでの音楽創りのプロセスを体験できる、貴重な機会です。

ピアノについて

本邸で演奏使用されているピアノ (スタインウェイ社 1960 年 ハンブルグ製 セミコンサートグランド) は、ピアニスト 園田高弘の遺品です。これまで長きにわたり、園田高弘および多くの弟子、演奏者により使用されてきましたが、この度、スタンウェイジャパン社、大山平一郎氏と一般社団法人 Music Dialogue のご監修とご協力をいただき、故園田高弘夫人および本邸現オーナーにより、弦のフルメンテナンスが実現いたしました。ここに、心からの感謝とともに、末永く本邸にて、園田高弘の遺志が美しい音色とともに引き継がれていくことを願います。

一般社団法人住宅遺産トラスト

レッスン聴講

〔料 金〕 一般…1,000円 (1日)
2,000円 (通し券)
学生…無料

〔スケジュール〕

3/1(木)

9:30-11:30…ピアノ四重奏

12:00-14:30…弦楽六重奏

14:45-17:00…クラリネット五重奏

3/2(金)

9:30-11:00…ピアノ四重奏

11:30-13:30…弦楽六重奏

14:00-17:00…クラリネット五重奏

3/3(土)

10:00-12:00…クラリネット五重奏

13:30-15:30…弦楽六重奏

15:45-17:00…ピアノ四重奏

※入退場自由 / リハーサルの時間は変更
となる可能性が御座います。

〔塾長経歴〕 大山平一郎 (ヴィオラ)

アメリカ・サンタバーバラ室内管弦楽団音楽監督兼常任指揮者、シャネル・ピグマリオン・デイズ 室内楽アーティスティック・ディレクター、Music Dialogue 芸術監督。桐朋学園音楽高校卒業後、英国のギルドホール音楽学校を卒業。米国インディアナ大学でも研修。1972 年から室内楽の分野で、活動を開始 (マルボロ音楽祭・サンタフェ室内音楽祭・ラホイヤ・サマーフェスト)。1979 年にジュリーニ率いるロスアンジェルス交響楽団の首席ヴィオラ奏者に任命され、1987 年にプレヴィンから同楽団の副指揮者に任命される。1999 年から 5 年間、九州交響楽団の常任指揮者、2004 年から 4 年間、大阪交響楽団首席指揮者。2003 年に 30 年にわたるカリフォルニア大学教授職を終える。2007 年から 3 年間、ながさき音楽祭音楽監督。2005 年に「福岡市文化賞」、2008 年に文化庁「芸術祭優秀賞」、2014 年にサンタバーバラ市の「文化功労賞」を受賞。

〔お申込み〕 <https://goo.gl/V5hYt6>